

2021 年度実施概要

学校名

島根県益田市立安田小学校

採択活動名

海と森林の環境を考えよう

取り組みの概要

学校がある地域は山、海がある自然に恵まれた地域である。しかし、子どもたちの生活の中では、その恵みを喜んだり、その美しさやふるさとのよさを感じたりする時間は、極めて少ないのが現状である。そこで、ふるさとの自然に目を向け、自分たちの住んでいる地域のよさや課題をあえて実体験させていく必要があると考え、3年間継続して取り組んできた。

4年生では、海の生物について学んだり（砂ガニ、魚類、桜貝や蛤等）、海に関する地域の実情を考えさせたり（漂着物調査【地域の津田海岸と益田市内の高津川河口西側に広がる持石海岸での漂着物調査の比較】）するとともに、海を大切にしている地元の方々との出会いを通して、その方々の海への思いや行動、生き方について、本物体験をとおして考えさせるような学びを目指した。

また、5年生では、市内を流れる一級河川の高津川の源流見学や川遊び（ガサガサ）体験、森林見学や講話、植林体験等を通して、森林の働きと海とのつながりに気付かせる学びを目指した。

活動中の写真

デジタルデータにて2～3枚の添付をお願いします。



(4年：津田海岸生き物調査)



(5年：高津川ガサガサ体験)



(5年：植林体験)

実施単元名 ※実施した単元の数に応じて記載してください

4－1. 知ろう！安田の海！！

- ・津田漁港や砂浜，岸辺で遊びながら，海の生き物に関心をもつ。
- ・NPO 法人アンダンテ 2 1 や漁協の方々に協力していただき，安田の海に生息する生き物を知る。
- ・生き物だけでなく，海の水面や砂浜，漁港にある漂着物やごみに関心をもつ。
- ・益田市の特産である，「鴨島蛤」の生態や漁獲方法等を調べる。
- ・海に親しんだ感想を交流し合う。

4－2. 持石海岸ごみ清掃及び津田海岸漂着物調査

- ・海岸にある漂着物の分別作業を通して，身近な海が直面する課題に関心をもつ。
- ・砂浜にある貝殻を収集し，NPO 法人アンダンテ 2 1 や漁協の方々に教えてもらいながら，貝の名称を調べる。
- ・地域の海岸と，同じ益田市にある持石海岸との漂着物を比較する。
- ・海を美しく保とうとされている方々の話を聞いたり，海の美化活動に参加したりして海に関わる方々の思いにふれる。
- ・美しい益田の海を守るために，自分たちにできる行動を考える。

4－3. きれいな安田の海を守っていくために，自分たちができることを考え，発信しよう

- ・これまで学んできたことをまとめる。
- ・SDG s の取組とあわせ，学習発表会で学びの成果を発表する。
- ・「鴨島蛤」に絵付けをし，蛤貝アートに出品する。
- ・1年間の学びを，パソコンをつかってスライドにまとめ，学校公開日に発表する。

5－1. 高津川探検

- ・市内を流れる一級河川，高津川について知る。
(アンダンテ 2 1 や水源会館の方に，生き物や高津川の水質についての話を聞く。)
- ・高津川の源流見学やガサガサ体験を通して，高津川に生息する生き物について関心をもつ。
- ・生き物や高津川について調べ，現状と関連付けて調べ学習を進める。
- ・調べたことを新聞にまとめる。

5－2. 植林体験

- ・山師の方に，森林や山仕事についての話を聞く。
- ・森林の働きについて理解するとともに森林破壊についての問題と関連付けて考察する。
- ・森林の働きが，身近な海を守ることにつながることに気付く。
- ・地球規模の環境を守る取組に目を向け，自分にできることを考え，発信する。